

【第1号議案・令和3年度事業報告書】

令和3年度  
第70期事業報告書  
(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

一般社団法人 中部地区医師会

## 一般社団法人 中部地区医師会 令和3年度事業報告書

昭和28年(1953年)7月13日の中部地区医師会設立以来、昭和63年に中部地区医師会館・検診センターを開設し、平成7年訪問看護ステーション、平成16年訪問介護事業、平成20年ぐしかわ看護専門学校、更に本会の関連会社として平成24年中部システムサポート、平成27年中部スタッフサポート、令和2年に看護小規多機能居宅介護ナーシングケアハウスやえしまを設立し、本会は、着実に事業を発展させてまいりました。組織の拡大とともに本会の社会的責任もますます大きくなることを自覚し、今後も会員と共に学術団体としての医師会活動はもとより、県や市町村、関係団体と密接な連携をとり、地域に密着した活動を通じて、地域住民の皆様の健康を守り、安全・安心な医療・保健・介護・福祉を支える役割を担って参りたいと考えております。コロナ禍の中において令和3年度医師会事業として実施した主なものは下記の通りとなっております。

### 《医師会会務運営》

一般社団法人の基準に沿った事業計画書及び予算書を作成し「継続事業1.2.3」と「その他事業1.2.3.4」に分け、コロナ禍の影響で中止、延期となった事業もありましたがコロナ対策に向け職員一同総力を挙げ対応いたしました。

#### 【令和3年度・定期総会】

日時：令和3年6月25日(金) 19時30分～21時

場所：中部地区医師会館 3階ホール

議案：第1号議案：令和2年度事業報告書について

第2号議案：令和2年度決算報告書について

#### 【令和3年度・臨時総会】

日時：令和4年3月25日(金) 19時30分～21時

場所：中部地区医師会館 3階ホール (WEB併用)

議題：第1号議案：定款の一部改正について(案)

第2号議案：令和4年度事業計画書(案)

第3号議案：令和4年度収支予算書(案)

#### 【理事会・関連委員会・その他】

中部地区医師会定例理事会(毎月2回/第2・第4金曜日/19:30/3階ホール)

医師会職員管理者会議(毎月2回/第2・第4月曜日/16:00/3階ホール)

4/10 第52回九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会施設長会/17:00/WEB会議

6/15 監事監査/19:30/3階会議室(祝嶺千明・小橋川啓・涌波満・松嶋顕介)

6/22 評議員会/19:30/3階レストラン(三役・評議員)

7/10 第52回九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会/WEB開催

※本会より3名の発表

発表者①：中部地区医師会 副会長 松嶋顕介

演 題：中部地区医師会におけるコロナ対策 CVS-CM と CORONA BASUTER CHUBU の開発

発表者②：中部地区医師会 理事 新屋洋平

演 題：高齢者施設等に対するクラスター対策について

発表者③：中部地区医師会検診センター 臨床検査課技師長 池端郁子

演 題：検診センターPCR 検査の構築について

12/8 裁定委員会/19：00/3階レストラン（松嶋顕介）

3/ 4 地区医師会長会議/19：00/沖縄県医師会（中田安彦）

3/14 定款・諸規定検討委員会/19：30/中部地区医師会（今井千春）

3/16 評議員会/19：30/3階レストラン（三役・評議員）

## 1. 令和3年度新型コロナウイルス感染症関連の事業について

（担当理事：松嶋副会長）

令和元年12月以降、中国の湖北省武漢市において、新型コロナウイルス感染症の発生が複数報告されて以来、ウイルスは変異を繰り返し、今なおその脅威は世界中を襲い、沖縄県においても感染症流行に伴い、未曾有の医療状況の悪化、社会変動と経済的損失にみまわれましたが、当会は会員と共に以下の事項を取り組みました。

### ① 中部地区医師会 WEB サイトについて

新型コロナウイルス感染症のPCR検査までの問題点として浮き彫りとなった、地域住民が医療機関で国の判断基準からPCR検査が受けられない、保健所や沖縄県コロナ対策本部と連絡がつかない、PCR検査を受けたいがどこの医療機関で受けられる等、多くの課題を抱える中、これらの課題を解決すべく、R2年8月3日より「中部地区医師会 WEB サイト」を開設し新型コロナウイルス感染症を疑う方をPCR検査が必要かどうか、患者自身が事前に自覚症状などを入力し、効率的に医療機関を紹介するシステムを構築いたしました。開設当初、16施設がWEBサイト上でPCR検査が行える施設として公表しておりましたが、会員皆様にご理解頂いた結果、現在、31施設がPCR検査を行える施設として公表しております。当サイトの令和4年4月30日時点で18万7566回のアクセス数があることから、中部保健所や沖縄県コロナ対策本部の業務負担軽減に大いに寄与したと考えており、会員や関係各位より高い評価を頂いております。また令和4年5月現在104施設において、保険診療（PCR検査、抗原検査等）が行えます。

#### 【内訳】

61施設がPCR、抗原検査等が行える診療・検査医療機関

43施設がPCR、抗原検査等が行える検査協力機関

104施設のうち27施設が医師会WEBサイトで公表中

104施設のうち56施設が発熱外来対応医療機関として沖縄県のホームページで公表中

### ② 検診センター臨床検査室のPCR検査について

医師会 WEB サイト構築後、令和 2 年 8 月 3 日より、PCR 検査については検診センター検査室より再外注先として AVSS を利用しておりました。検査室内で検査を行うためには、検査機器の整備や検査室の改築が必要となりました。検査機器は沖縄県より補助を受け整備することができ、また、検査室内の改築費用については、沖縄県医師会より補助を受けることができましたので、令和 2 年 10 月 12 日より検診センター検査室内で PCR 検査が行えるようになりました。これまで 5 万 9,623 件 (R4/3/31 迄) の PCR 検査を会員施設より受託し陽性者は 10,396 名おりました (陽性率 17.4%)。PCR 検査を行える検査技師が現在 6 名、引き続き精度管理の向上、技師の養成、迅速な結果報告に努めます。また、令和 4 年 3 月 31 日現在、79 の会員施設において安全に新型コロナウイルス感染症の PCR 検査等が行えますが、更に会員施設で安全な PCR 検査 (検体採取) が図れるよう最新の感染症対策情報の提供に努めます。

③ 新型コロナウイルス感染症対策ポータルサイト「コロナバスター中部」

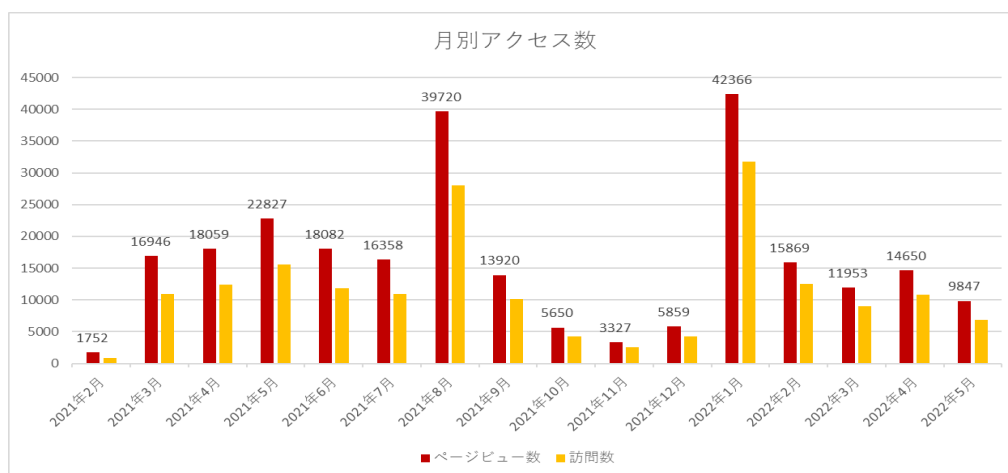
本会では、新型コロナウイルス感染症対策についての医療機関・行政間における情報伝達、更には地域の皆様からの様々なお問合せや感染予防対策に対しての情報を一元的に対応するため、中部市町村会の協力を得て、総合対策ポータルシステム「コロナバスター中部」を令和 2 年度に開設致しました。令和 4 年 5 月までに 257,185 件のアクセスがあり、地域住民の皆様への情報公開の一助になったのではないかと思います。

病床連携システムには、現在 44 医療機関の登録をさせていただいており空床情報の共有をさせていただいております。

※コロナバスター中部 <https://cccn.gr.jp/>



	ページビュー数	訪問数
2021年2月	1752	802
2021年3月	16946	10873
2021年4月	18059	12368
2021年5月	22827	15597
2021年6月	18082	11830
2021年7月	16358	10933
2021年8月	39720	28056
2021年9月	13920	10116
2021年10月	5650	4232
2021年11月	3327	2565
2021年12月	5859	4265
2022年1月	42366	31742
2022年2月	15869	12541
2022年3月	11953	9006
2022年4月	14650	10802
2022年5月	9847	6870
計	257185	182598



- ④ 新型コロナウイルス感染症の軽症者等宿泊療養施設における健康観察医師の派遣について  
沖縄県では軽症者については民間宿泊施設での宿泊療養を実施しており、中部地区において新規宿泊療養施設（アンサ沖縄）の開所を決定しました。当該施設では感染者の健康観察が必要になることから健康観察医にご協力いただきました。

期 間：令和3年8月12日～

中田安彦（愛聖クリニック） 石川隆夫（石川医院） 末永正機（宜野湾記念病院）  
金城光世（光クリニック） 岡本昌子（愛聖クリニック） 間山泰晃（中頭病院）  
小倉加奈子（中頭病院） 新屋洋平（中部徳洲会病院）

⑤ 新型コロナワクチン接種の推進

1) 集団予防接種について

中部地区では医療施設の偏在もあり、各市町村所在地の医療施設のみでは対応が困難なことも予想されます。中部地区を一つの地域ととらえ、中部地区医師会では各市町村の集団接種会場へ接種チームを動員するタスクフォース中部の構築を令和2年度より進めてまいりました。

中部地域住民の皆様に円滑に集団予防接種を提供するため、中部地区医師会管内医療機関の看護師の事前研修として中頭病院、中部徳洲会病院、ハートライフ病院にて4月7日～4月10日までの期間で看護師103名が研修を受講されました。

各医療機関の医師、看護師へご協力いただきながら、各市町村と連携を強化し円滑に取り組みました。

※中部9市町村内の集団予防接種実績（初回1回目、2回目、追加3回目）305,567回

2) 個別予防接種について

5月24日時点、基本型（25施設）、サテライト型（113施設）、合計138の施設で個別予防接種を進めており、引き続き個別予防接種実施の拡充を推進していきます。

沖縄市（41施設）/宜野湾市（23施設）/うるま市（27施設）/嘉手納町（2施設）

西原町（14施設）/北谷町（12施設）/北中城村（4施設）/中城村（8施設）

読谷村（7施設）

3) 検診センター実施の個別予防接種および職域接種について

北谷町より新型コロナワクチン接種（個別接種）について当検診センターに協力要請があり、令和3年8月6日（金）から令和3年10月15日（金）（金曜日午後、土曜日午後実施）の期間（計20回実施）において、1回目接種807名、2回目接種794名の住民への接種を実施いたしました。また、3回目の新型コロナワクチン接種（個別接種）においても北谷町より再度協力依頼を受け、令和4年2月18日（金）～令和4年3月19日（土）（金曜日午後、土曜日午後にて実施）の期間（計6回実施）において、463名の方へ3回目のワクチン接種を実施いたしました。（令和4年4月にも計4回実施しております）

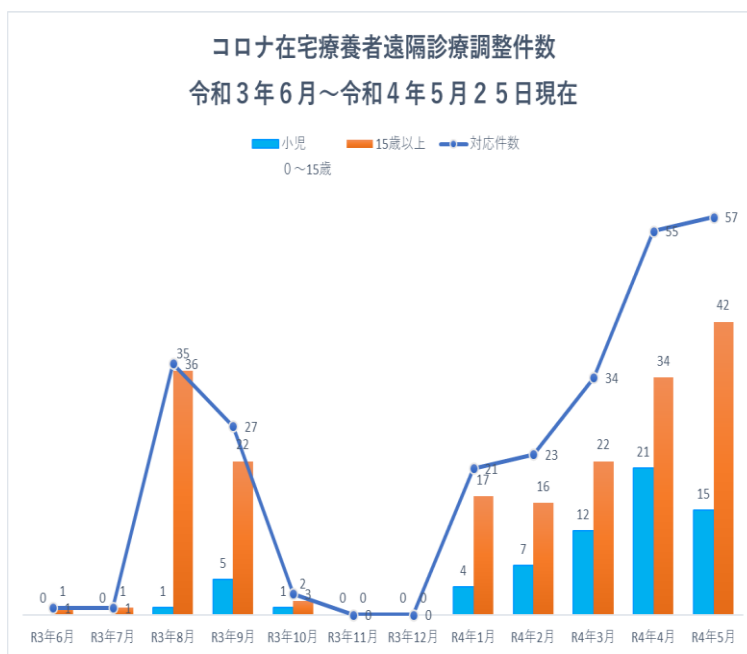
また、職域接種を3事業所において実施いたしました。拓南グループにおいては（令和3年8月28日～令和3年9月28日）1回目接種者980名、2回目接種者927名、コザ信用金庫においては（令和3年9月18日～令和3年10月24日）1回目接種者528名、2回目接種者512名、北谷町商工会においては（令和3年9月13日～令和3年9月17日、令和3年10月11日～令和3年10月15日）1回目接種者491名、2回目接種者482名のワクチン接種を実施いたしました。

#### 4) コロナ自宅療養者に対する在宅医療（遠隔診療）提供について

新型コロナウイルス感染症の感染者増加に伴い、自宅療養者への在宅医療提供のため令和3年6月に沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部へ専任チームが設置されました。沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部より地区医師会へ遠隔診療依頼があり、病院クリニックへ遠隔診療（電話診療）の依頼をし対応して頂いております。

コロナ在宅療養者遠隔診療調整件数（R4.5.25現在）

	対応件数	小児 0～15歳	15歳以上
R3年6月	1	0	1
R3年7月	1	0	1
R3年8月	36	1	35
R3年9月	27	5	22
R3年10月	3	1	2
R3年11月	0	0	0
R3年12月	0	0	0
R4年1月	21	4	17
R4年2月	23	7	16
R4年3月	34	12	22
R4年4月	55	21	34
R4年5月	57	15	42
合計	<b>258</b>	<b>66</b>	<b>192</b>



#### ⑥ 関連会議、委員会、研修会、その他

4/1 沖縄県医師会新型コロナウイルスワクチン接種体制に関する会議

19:00/沖縄県医師会

4/6 県立中部病院新型コロナウイルスワクチン集団接種協力依頼 16:00/県立中部病院

4/7 琉大病院、沖縄病院新型コロナウイルスワクチン集団接種協力依頼

16:00/琉大病院 17:00/沖縄病院

4/9 沖縄市との新型コロナワクチン集団接種日程について打合せ 19:00/中部地区医師会

4/15 沖縄県看護協会新型コロナウイルスワクチン集団予接種協力要請

16:00/沖縄県看護協会

4/15 コロナバスター中部空き病床管理システム説明会

19:30/中部地区医師会 3階ホール

4/21 嘉手納町と新型コロナワクチン接種について面談 19:00/中部地区医師会応接室

4/27 新型コロナワクチン接種を短期間で終了するための課題と解決方法について/中部市町村からの協力依頼について 19:00/中部地区医師会 3階会議室

5/20 中部保健衛生事務研究会との打合せ 19:30/中部地区医師会 3階レストラン

5/26 新型コロナウイルス感染症病床確保等に関する会議

19:30/沖縄県医師会（WEB 併用）

5/27 中部市町村会と新型コロナワクチン接種に関する会議

- 19:30/中部地区医師会会議室
- 6/9 新型コロナウイルス感染症自宅療養者に対する在宅医療提供に関する連絡会議  
20:00/沖縄県医師会（WEB 併用）
- 7/8 新型コロナウイルス感染症対策オンライン研修会 18:30/オンライン
- 7/16 新型コロナウイルスワクチン接種に関する地区医師会との会議  
19:00/沖縄県医師会
- 7/16 中部保健衛生事務研究会との打合せ 19:00/中部地区医師会 3 階ホール
- 8/4 沖縄県コロナ対策本部と宿泊療養施設について会 18:00/中部地区医師会応接室
- 8/27 沖縄市と新型コロナワクチン集団接種打合せ 18:00/中部地区医師会応接室
- 8/30 うるま市と新型コロナワクチン集団接種打合せ 18:30/中部地区医師会応接室
- 9/9 宜野湾市と新型コロナワクチン集団接種打合せ 18:30/中部地区医師会応接室
- 11/24 中部保健衛生事務研究会との打合せ会議 19:30/中部地区医師会 3 階レストラン
- 12/1 新型コロナウイルス感染症後遺症対応に関する関係者会議  
19:00/沖縄県医師会（WEB 併用）
- 12/22 小児における新型コロナウイルスワクチン接種体制構築に係る関係者会議  
19:00/沖縄県医師会（WEB 併用）
- 12/22 中部保健衛生事務研究会との打合せ会議 19:30/中部地区医師会 3 階レストラン
- 2/25 第 2 回離島市町村新型コロナワクチン接種体制確保に関する連絡会議  
19:00/沖縄県医師会（WEB 併用）
- 1/7 新型コロナウイルス感染症対策に係る関係病院長会議  
19:00/沖縄県医師会（WEB 併用）
- 1/13 新型コロナウイルス感染症対策に係る地区医師会及び関係者連絡会議  
19:00/沖縄県医師会（WEB 併用）
- 1/15 新型コロナウイルス感染症後遺症対応研修会 16:00/沖縄県医師会
- 2/8 新型コロナウイルス感染症高齢者施設等対応に関する地区医師会連絡会議  
19:00/沖縄県医師会
- 2/10 新型コロナウイルス感染症対策関係病院長会議 19:00/沖縄県医師会（WEB 併用）
- 2/24 第 1 回小児へのワクチン接種体制についての全体会議 18:30/中部地区医師会
- 3/2 新型コロナウイルス感染症高齢者施設（クラスター）等対応に関する意見交換会  
19:30/中部地区医師会 3 階ホール

## 2. 公衆衛生の向上を目的とする事業（継続事業 1）

本事業は、児童生徒、地域住民に安全・安心な医療を提供することで地域住民の医療福祉の向上と公衆衛生の向上に寄与することを目的に実施しました。

### 1）学校保健対策事業（担当理事：石川理事）（副担当：古堅理事）

例年通り、管内 9 市町村教育委員会及び沖縄県教育委員会から依頼を受け、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校並びに一部私立学校の合計 119 校へ学校医（111 名）・健診協力医（56 名）の配置を行いました。

【各種委員会・協議会へ推薦】

○令和3年度宜野湾市要保護児童対策地域協議会員/じのーんキッズ安心ネットへ推薦  
古堅善亮理事を推薦【任期 R3. 4. 1～R4. 3. 31】

【関連委員会・その他】

5/27 じのーんキッズ安心ネット代表者会議/14:00/宜野湾市役所

8/7、8/8 第65回九州ブロック学校保健、学校医大会/沖縄県医師会

2) 予防接種事業の普及促進、感染症対策事業（担当理事：石川理事）（副担当：野村副会長）

- ①管内8市町村において行政措置予防接種として実施されているおたふくかぜワクチン予防接種は、未実施である西原町については、引き続き協議（要請）いたしました。
- ②平成27年度より個別予防接種（小児・高齢者）は、県内の医療機関のどこでも予防接種が受けられるように北部地区医師会、浦添市医師会、南部地区医師会、那覇市医師会との間で相互乗り入れが実現しておりますが、令和3年度も同体制を引き続き維持できるよう関係団体と調整を行いました。
- ③小児インフルエンザ予防接種（幼児～中学生）につきましては、引き続き公費負担化を要請しました。
- ④高齢者肺炎球菌予防接種は、北谷町、嘉手納町が平成26年度から無料で行っており、沖縄市につきましても令和元年度より無料化となりました。令和3年度も未実施の自治体に対しては引き続き要請しました。
- ⑤平成31年4月に厚生労働省より風しん予防接種を公的に受ける機会がなかった39～56歳（1962年【昭和37年】4月2日～1979年【昭和54年】4月1日生まれの男性約1610万人）の男性のうち、抗体価が低い（8倍以下）と判明した人に限り、予防接種法に基づく定期接種の対象とし、令和4年3月まで公費により無料で予防接種を行う事になっておりましたが、令和3年度におきましても市町村、会員施設と連携の基、取り組んでいきました。

【各種委員会への委員推薦】

○中城村予防接種健康被害調査委員会（推薦）【任期：R2. 4. 1～R4. 3. 31】

医師会代表：中田安彦会長／石川隆夫理事

中城村内医療機関代表：湧田森明（わくさん内科）

池田祐之（榕原医院）R2. 4. 1～R4. 2. 28

羽地周作（海風クリニック）R4. 3. 1～

○沖縄市予防接種健康被害調査委員会（推薦）【任期：R3. 4. 1～R5. 3. 31】

医師会代表：中田安彦会長／石川隆夫理事

沖縄市内医療機関代表：仲嶺文雄（なかみねニュークリニック）

安里義秀（あさとこどもクリニック）

○読谷村予防接種健康被害調査委員会（推薦）【任期：R3. 4. 1～R5. 3. 31】

医師会代表：中田安彦会長／石川隆夫理事

読谷村内医療機関代表：祖堅尚（そけん小児科）



【関連会議・委員会・その他等】

3/1～3/7 子ども予防接種週間

- 10/27 読谷村予防接種健康被害調査委員会 18:00/読谷村役場
- 11/19 沖縄市予防接種健康被害調査委員会打合せ 13:00/愛聖クリニック
- 12/23 西原町予防接種健康被害調査委員会 19:00/西原町役場
- 1/24 北中城村予防接種健康被害調査委員会 18:00/北中城村役場
- 3/18 沖縄市予防接種健康被害調査委員会 19:00/沖縄市役所
- 3/23 うるま市予防接種健康被害調査委員会 19:00/うるま市役所
- 3/24 西原町予防接種健康被害調査委員会 19:00/西原町役場
- 3/28 北谷町予防接種健康被害調査委員会 19:00/北谷町役場

3) 産業保健対策事業（担当理事：兼城理事）（副担当：仲地理事）

独立行政法人労働者健康福祉機構 沖縄産業保健総合支援センターより委託を受け「中部地域産業保健センター」を設置し、中部地域の従業員 50 名未満の事業場（事業主）へ、意見書の作成、保健指導、面接指導、情報提供等を行いました。また、ストレスチェック制度を円滑に推進するため関係団体と連携し産業医の先生方に各種情報を提供しました。

【関連委員会・その他】

- 4/30 第 1 回産業医部会設立検討委員会/19:30/沖縄県医師会
- 10/21 第 2 回全国医師会産業医部会連絡協議会/13:00/日本医師会館
- 2/25 中部地域産業保健センター運営協議会/17:00/中部地区医師会館

4) 学術活動事業（担当理事：古堅理事）（副担当：兼城賢作理事）

学術活動として令和 3 年度も医師の生涯学習の一環として、最新の医療技術各種講演会や研修会を WEB 等を用いて開催いたしました。

- ① 各種講演会の開催及び後援
- ② 日本医師会生涯教育自己申告書の取りまとめ

【各種講演会 ※共催又は後援及び日医生涯教育講座】

○日時：令和 3 年 4 月 21 日（水）18:30～19:10

場所：中部地区医師会 3F ホール

座長：沖縄県立中部病院 循環器内科 和氣 稔 先生

演題：「不整脈薬物治療ガイドライン 2020～心房細動を中心に～」

演者：宮崎市郡医師会病院 循環器内科 部長 足利 敬一 先生

○日時：令和 3 年 4 月 22 日（木）19:00～20:00

場所：WEB 講演会

座長：医療法人安心会 愛聖クリニック 院長 中田 安彦 先生

演題：「慢性 C 型肝炎 経口抗ウイルス薬による治療効果と残された課題」

演者：沖縄県立中部病院 消化器内科 山田 航希 先生

○日時：令和 3 年 5 月 19 日（水）19:00～19:45

場所：WEB 講演会

座長：中部徳洲会病院 不整脈センター長 大城 力 先生

演題：「心血管イベント抑制を考慮した降圧療法」

演者：南部徳洲会病院 副院長 循環器科部長 川満 克紀 先生

○日時：令和3年6月9日（水）18：30～19：30

場所：WEB 講演会

座長：まつしまクリニック 院長 松嶋 顕介 先生

演題：「糖尿病患者の心不全発症・進行を防ぐには？」

演者：福岡大学医学部 心臓・血管内科学 主任教授 三浦 伸一郎 先生

○日時：令和3年6月30日（水）19：00～20：30

場所：WEB 講演会

座長：中部徳洲会病院 循環器内科 部長 比嘉 健一郎 先生

演題1：「最適な抗血小板療法を目指して～薬剤起因性消化管障害のマネジメントも含む～」

演者：浦添総合病院 循環器内科 主任部長 上原 裕規 先生

演題2：「酸関連疾患治療のために知っておくべきクスの話～PPI 代謝も含めて～」

演者：浜松医科大学 臨床研究センター 病院教授 古田 隆久 先生

○日時：令和3年7月16日（金）18：30～19：30

場所：WEB 講演会

座長：かりゆしクリニック 院長 山川 研 先生

演題：「新時代の糖尿病・心血管不全治療戦略」

演者：佐賀大学医学部 内科学講座 主任教授 野出 孝一 先生

○日時：令和3年10月29日（金）19：00～20：10

場所：WEB 講演会

座長：中部徳洲会病院 整形外科部長 高江洲 美香 先生

演題：「当院における骨粗鬆症リエゾンサービス病棟看護師の立場から」

演者：中頭病院 整形外科 主任看護師 島袋 博樹 先生

○日時：令和3年11月25日（木）19：30～20：30

場所：WEB 講演会

座長：まつしまクリニック 院長 松嶋 顕介 先生

演題1：「整形外科領域の神経障害性疼痛の診断と治療」

演者：沖縄県立中部病院 整形外科 普天間 朝拓 先生

座長：沖縄県立中部病院 地域診療科 村田 祥子 先生

演題2：「がん疼痛治療の最前線」

演者：中部徳洲会病院 疼痛治療科統括部長 兼

麻酔ペインクリニック部長 服部 政治 先生

○日時：令和3年12月14日（火）19：00～20：00

場所：WEB 講演会

座長：県立北部病院 循環器内科 部長 平辻 知也 先生

演題：「超高齢者における心房細動治療」

演者：中部徳洲会病院 循環器内科主任部長・不整脈センター長 大城 力 先生

○日時：令和3年12月15日（水）18：00～18：45

場所：WEB 講演会

座長：医療法人うりずんの会 かりゆしクリニック 院長 山川 研 先生

演題：「循環生理から考える心不全合併糖尿病の最新治療戦略」

演者：九州大学病院 循環器内科 助教 坂本 隆史 先生

○日時：令和4年2月15日（火）19：00～20：00

場所：WEB 講演会

座長：琉球大学大学院病院医学研究科 麻酔科学講座 准教授 中村 清哉 先生

演題：「がん疼痛治療の最前線」

演者：中部徳洲会病院 疼痛治療科統括部長 兼 麻酔ペインクリニック部長  
大分大学医学部麻酔科学教室 臨床教授 服部 政治 先生

○日時：令和4年2月18日（金）19：00～20：40

場所：WEB 講演会

Opening Remarks：牧港中央病院 副院長 不整脈・心不全治療部門 比嘉 聡 先生

【基調講演Ⅰ】座長：大浜第一病院 薬剤科長 姫野 耕一 先生

演題：「当院におけるDOAC使用実態調査」

演者：沖縄協同病院 薬剤部 新田 秋大 先生

【基調講演Ⅱ】座長：大浜第一病院 院長 大城 力 先生

演題：「心房細動の早期発見・診断」

演者：中部徳洲会病院 循環器内科主任部長・不整脈センター長 大城 力 先生

【特別講演】座長：那覇市立病院 循環器内科 科部長 間仁田 守 先生

演題：「超高齢・高出血リスク心房細動例に対するDOAC療法」

～ELDERCARE-AFから学んだこと～

演者：済生会熊本病院心臓血管センター 循環器内科 不整脈先端治療部門  
最高技術顧問 奥村 謙 先生

○日時：令和4年3月15日（火）19：00～20：00

場所：WEB 講演会

座長：医療法人翔南会 翔南病院 院長 仲地 健 先生

演題：「糖尿病薬物療法の新潮流」

演者：医療法人秀明会 田仲医院 院長 田仲 秀明 先生

○日時：令和4年3月23日（水）

場所：WEB 講演会

座長：中部徳洲会病院 泌尿器科 部長 呉屋 真人 先生

演題：「I・0時代に腎癌をどう攻めるか」

演者：長崎大学 泌尿器科・腎移植外科 病院准教授 大庭 康司郎 先生

5) 広報活動事業（担当理事：古堅理事）（副担当：兼城賢作理事）

県医師会の「広報委員会」「マスコミとの懇談会」に参加し、医療、保健、介護、福祉等、医師会活動を県民へ広報活動や啓発活動を行いました。また、日本医師会、県医師会、沖縄県、厚生労働省等からの情報や文書等を会員へ迅速に情報提供を行いました。

【関連委員会等】

沖縄県医師会広報委員会（毎月1回）

1/17 マスコミとの懇談会へ参加 ※コロナの影響で延期

6) 救急医療対策事業（担当理事：西原常任理事）（副担当：大城理事）

おきなわマラソン大会や管内市町村が主体となって実施する各種イベントへの救護班（医師・看護師）の派遣は、コロナ感染症の為、全てイベントが中止となりましたので救護班の派遣依頼などはありませんでした。

【各種委員会への推薦】

○中部地区MC協議会

担当理事 西原実常任理事を推薦

第1回中部地区MC協議会を書面会議で5月に開催

○令和3年度沖縄県災害医療コーディネーター（地域災害医療コーディネーター）

担当理事 西原実常任理事を推薦

【その他会議などへの参加】

4/1 都道府県医師会医師の働き方改革担当理事連絡協議会 16:00/WEB 講演会

9/8 第1回在宅医療・救急医療連携体制構築に向けたルール策定検討会議 19:00/WEB 併用

11/9 第2回在宅医療・救急医療連携体制構築に向けたルール策定検討会議 19:00/WEB 併用

1/11 第3回在宅医療・救急医療連携体制構築に向けたルール策定検討会議 19:00/WEB 併用

3/4 第4回在宅医療・救急医療連携体制構築に向けたルール策定検討会議 19:00/WEB 併用

<https://chubu-ishikai.cybozu.com/o/ag.cgi?page=FileView&fCID=61282&fFID=61303>

7) 地域医療対策事業（担当理事：今井副会長）（副担当：末永常任理事）

例年通り地域支援病院の運営委員会へ役員を委員として派遣し、コロナ対応や救急医療等の課題を解決するための連携強化に努めました。

また、沖縄県は平成29年3月に地域医療構想を策定し、今後、中部圏域では回復期病床の不足が見込まれることから、令和3年9月に回復病床（地域包括ケア病棟）の増床が決まり病床の公募が行われました。その結果、令和4年5月に北中城若松病院（26床）、中部協同病院（28床）、令和5年4月宜野湾記念病院（21床）、令和5年12月社会医療法人敬愛会（94床、新設病院設立）合計169床の増床となります。

【関連委員会への参加】

5/28 第1回中部地区及び南部地区医療提供体制協議会/19:00/沖縄県医師会

6/17 第1回中部病院地域医療支援病院委員会/18:00/中部病院

6/17 第1回医療機能分化検討会議/19:00/沖縄県医師会

7/28 第1回中頭病院地域医療支援病院委員会/15:00/中頭病院

10/21 第2回中部病院地域医療支援病院委員会/18:00/中部病院

10/27 第2回中頭病院地域医療支援病院委員会/15:00/中頭病院

- 1/26 第3回中頭病院地域医療支援病院委員会/15:00/中頭病院  
1/27 第2回中部地区及医療提供体制協議会/17:00/沖縄県医師会

【各種協議会・委員会への推薦】

- 中頭病院（地域医療支援病院）運営委員  
末永正機常任理事を推薦
- 中部病院（地域医療支援病院）運営委員  
今井千春副会長を推薦

【その他】

- ゴールデンウィークにおける診療時間調べを実施
- 年末年始における診療時間調べを実施

8) 地域保健対策事業（担当理事：仲地理事）（副担当：今井副会長）

沖縄県地域医療推進体制連携事業は平成28年度で満10年目を迎え、平成29年度から「中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会」として新たに活動し、講演会だけではなく勉強会や事例・症例検討会を開催し、幅広く多職種（養護教諭・介護関係者等）にも参加を呼びかけ、参加者でディスカッションできる場を設け、連携の強化を図り、糖尿病対策の推進を行ってまいりました。令和3年度も新型コロナウイルス感染症流行の影響により、当委員会の活動も制限せざるを得ない状況でありましたが、以下の講演会をハイブリッド形式による勉強会、推奨講演会を開催いたしました。

【委員会への推薦】

- うるま市・沖縄市CKD・糖尿病性腎臓病対策推進委員会  
石川隆夫理事を推薦
- うるま市・沖縄市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携推進・評価委員会  
仲地健理事を推薦
- ヘルシーおきなわシティ推進会議  
仲地健理事を推薦
- うるま市健康づくり推進協議会委員  
仲地健理事を推薦
- 中部地区健康おきなわ21推進会議  
仲地健理事を推薦

【各種委員会等への参加】

①中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会の開催

- 7/8 第1回中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会/19:00/WEB
- 9/16 第2回中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会/19:00/WEB
- 12/2 第3回中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会/19:30/WEB・中部地区医師会館3階会議室
- 1/6 第4回中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会/19:30/WEB
- 3/3 第5回中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会/19:30/WEB

②沖縄市食育推進委員会への参加/仲地理事

- 3/30 沖縄市食育推進会議/16:00/WEB会議・沖縄市役所

③うるま市・沖縄市 ちゅらま〜み（腎）プロジェクト/中田会長・仲地理事

- 8/18 うるま市・沖縄市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携講演会/19:30/WEB会議

- 12/16 うるま市・沖縄市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携登録医会議/19:15/WEB会議  
 ④うるま市・沖縄市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携推進・評価委員会/仲地理事  
 3/17 うるま市・沖縄市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携推進・評価委員会/19:00/WEB会議  
 ⑤うるま市・CKD・糖尿病性腎臓病対策推進委員会/石川理事  
 3/22 うるま市・CKD・糖尿病性腎臓病対策推進委員会/書面報告  
 ⑥ヘルシーおきなわシティ推進会議/仲地理事  
 12/2 ヘルシーおきなわシティ推進会議/16:00/沖縄市

### 【講演会】

医療従事者、関係者への研修会の開催（2回開催）

第1回勉強会 令和3年10月14日（木）/WEB講演会（91名参加）

挨拶：中部地区医師会 会長 中田 安彦 先生

演題1：「ちばなクリニック コロナ感染症における糖尿病診療～Afterコロナも見据えて～」

演者：（社医）敬愛会 中頭病院 内分泌・代謝内科部長 屋良 朝博 先生

座長：中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会 委員長 仲地 健 先生

演題2：「ポストコロナを見据えた糖尿病診療の新しい流れ」

演者：（医）秀明会 田仲医院 院長 田仲 秀明 先生

座長：中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会 委員長 仲地 健 先生

第2回勉強会 令和3年12月14日（火）/WEB講演会（89名参加）

演題1：「コロナウイルス感染症流行期の糖尿病臨床の問題点」

演者：（社医）かりゆし会 ハートライフクリニック 糖尿病内科 山本 壽一 先生

座長：中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会 委員長 仲地 健 先生

演題2：「体組成計の紹介」

演者：（社医）かりゆし会 ハートライフクリニック 健康運動指導士 長嶺 敦司 先生

座長：中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会 委員長 仲地 健 先生

演題3：「糖尿病外来における、体組成計を用いた運動評価の実際とヤーグマイ（在宅）運動療法」

演者：（社医）かりゆし会 ハートライフクリニック 糖尿病内科 小原 正也 先生

（社医）かりゆし会 ハートライフクリニック 健康運動指導士 長嶺 敦司 先生

座長：中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会 委員長 仲地 健 先生

演題4：「運動療法を継続するには」

演者：（社医）かりゆし会 ハートライフクリニック 糖尿病内科 山本 壽一 先生

座長：中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会 委員長 仲地 健 先生

### 【推奨講演会】

医療従事者、関係者への講演会の開催（1回開催）

推奨講演会 令和4年2月17日（木）/WEB・中部地区医師会館3階ホール（146名参加）

演題：「寛解（remission）を視野に入れた糖尿病診療の新展開：2022」

演者：琉球大学大学院 医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座（第二内科）  
 教授 益崎 裕章 先生

座長：中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会 委員長 仲地 健 先生

- 9) 老人保健対策事業（担当理事：末永 正機 常任理事）（副担当：兼城真理子理事）  
 平成 29 年 4 月から管内の 9 市町村（沖縄市・うるま市・宜野湾市・西原町・北谷町・嘉手納町・中城村・北中城村・読谷村）と宜野座村・金武町・恩納村からの委託を受け行っている「在宅医療・介護連携推進事業」は、令和 3 年度において、6 ブロックに分けて事業実施しております。地域包括ケアシステムの要の 1 つとして、医療と介護の両方を必要とした高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関が連携し、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供するために、市町村が主体となって医師会等と連携を密にしながら、地域の関係機関の連携体制の構築を推進することを目的に、下記の（ア）～（ク）の 8 項目を行いました。また、新型コロナウイルス感染症が流行している時期においても継続して事業展開ができるよう、オンラインの体制を整え、会議や研修会などで活用しました。

**【在宅医療・介護連携推進事業】**

（ア）「地域の医療・介護資源の把握」

中部地区の医療施設、介護施設の住所や機能を調査し、情報の更新や検索がしやすい様インターネット上で構築。南部地区医師会、北部地区医師会と共同で管理、運営し沖縄県内統一のマップを作成しております

（イ）「在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討」

地域の在宅医療、介護に関わる委員で構成された在宅医療・介護連携推進会議を開催し、在宅医療・介護連携における課題の抽出、対応策の検討を行いました。

- ・うるま市在宅医療・介護連携推進会議
 

第 1 回（5/20）うるま市役所	第 3 回（11/25）オンライン
第 2 回（8/19）オンライン	第 4 回（2/24）オンライン
- ・沖縄市在宅医療・介護連携推進会議
 

第 1 回（6/28）オンライン	第 3 回（12/13）オンライン
第 2 回（9/13）オンライン	第 4 回（3/14）オンライン
- ・宜野湾市在宅医療・介護連携推進会議
 

第 1 回（5/27）宜野湾市役所	第 3 回（12/23）宜野湾市役所
第 2 回（9/16）オンライン	第 4 回（3/24）オンライン
- ・金武町・宜野座村・恩納村在宅医療・介護連携推進会議
 

第 1 回（5/19）金武町総合保健福祉センター	第 3 回（11/17）オンライン
第 2 回（8/18）オンライン	第 4 回（3/2）オンライン
- ・北谷町・嘉手納町・読谷村在宅医療・介護連携推進会議
 

第 1 回（5/20）中部地区医師会	第 3 回（10/21）オンライン
第 2 回（8/19）オンライン	第 4 回（2/17）オンライン
- ・西原町・中城村・北中城村在宅医療・介護連携推進会議
 

第 1 回（5/31）オンライン	第 3 回（11/8）オンライン
第 2 回（8/16）オンライン	第 4 回（2/7）オンライン

(ウ)「切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進」

医師会を中心に医療職、介護職と実現可能な切れ目のない体制のあり方を検討しました。

1. 連携強化型在宅療養支援診療所連絡会

第1回(6/29)、第2回(7/28)、第3回(8/30)、第4回(9/27)、第5回(10/28)、第6回(11/30)、  
第7回(12/21)、第8回(1/25)、第9回(2/22)、第10回(3/23)

2. 新型コロナウイルス感染症の第6波流行に備えた訪問看護師意見交換会(令和3年12月2日オンライン) 参加事業所:6事業所10名

3. 在宅医との二次連携のための意見交換会

- ・第1回 在宅医+急性期病院連携室(6/29 会場+オンライン開催)
- ・第2回 在宅医+急性期病院勤務医(8/30 会場+オンライン開催)
- ・第3回 在宅医+訪問薬剤師(10/28 会場+オンライン開催)
- ・第4回 在宅医+高齢者入所施設管理者(12/21 会場+オンライン開催)

4. 中部地区訪問介護事業所連絡会 登録:34事業所

- ・第1回 意見交換会(6/24 会場+オンライン開催)
- ・第2回 「ヘルパーのためのセルフケア教室」勉強会(9/30 オンライン開催)
- ・第3回 「介護保険制度や加算等に関する勉強会(12/23 会場+オンライン開催)
- ・第4回 意見交換会(3/24) 会場+オンライン開催)

(エ)「医療・介護関係者の情報共有の支援」

在宅医療・介護連携に関する情報共有支援を行いました。

1. 専用ホームページを運用し、医療介護関係者へ研修会やお知らせ等の情報共有や医療介護連携のためのシートや冊子等の提供を行いました。(ホームページアクセス数 29696件)

2. 在宅医療・介護連携メーリングリスト登録を呼びかけ、積極的に情報発信を行いました。  
メーリングリスト登録者:802名(+129名)送信件数:39件

3. 在宅医療・救急医療連携体制構築に向けた取り組み

・アンケート作成作業部会

第1回(6/3 オンライン開催)、第2回(6/16 オンライン開催)

・中部地区の高齢者入所施設254か所へ急変時対応・看取り等に関するアンケート調査(7/1~7/16)

・中部地区の消防本部7か所へ高齢者の救急搬送等に関するヒアリング調査(7/19~7/30)

・在宅医療・救急医療連携体制構築に向けたルール策定検討会議

第1回(9/8 会場+オンライン開催) 第2回(11/9 会場+オンライン開催)

第3回(1/11 オンライン開催) 第4回(3/4 会場+オンライン開催)

・高齢者入所施設での療養生活時、急変時における各関係機関への基本的な指針を策定中

(オ)「在宅医療・介護連携に関する相談支援」

1. 医療介護関係者、地域住民からの在宅医療・介護連携に関する相談支援を行いました(42件)

2. 高齢者施設等の職員・利用者COVID-19陽性事例早期対応のための相談窓口を新たに設置し、施設クラスターを防ぐための相談支援を行いました。(36件)



(カ)「医療・介護関係者の研修」

1. 医療介護関係者の質の向上や顔の見える在宅医療・介護連携体制の構築のため、多職種研修会を開催しました。
  - カテゴリー別（4つの場面）研修会
    - ・入退院支援多職種研修会（令和3年8月26日オンライン） 視聴数：233 アカウント（Zoom記録より）
    - ・看取り支援多職種研修会（令和3年9月22日オンライン） 視聴数：87 アカウント、78名以上（アンケート結果より）
    - ・療養支援多職種研修会（令和3年11月24日オンライン） 視聴数：109名以上（アンケート結果より）
  - 新型コロナウイルス感染症対策研修会
    - ・「新型コロナウイルスワクチンについて～日々、高齢者を支えている皆様へ～」（令和3年7月8日オンライン） 視聴数：243名（アンケート結果より）
    - ・「第6波に備えた新型コロナ自宅療養者・濃厚接触者への対応マニュアル」（令和3年12月22日会場：中部地区医師会3階ホール）参加数：27名
  - 医療従事者による高齢者施設訪問指導
    - ・摂食・嚥下障害認定看護 看護師による訪問指導（令和3年11月2日、5日）
2. 高齢者施設向けDVD貸出研修：計82件（37件）、視聴者411名（279件）

(キ)「地域住民への普及啓発」

在宅医療・介護に関する地域住民の理解を深める為の普及啓発を行いました。

- 短編漫画、アニメーション動画を活用した地域住民向けACP普及啓発活動
  - ・短編漫画を12市町村へ1200冊配布
  - ・在宅ゆい丸センターホームページに短編漫画データ、アニメーション動画を掲載
  - ・在宅ゆい丸センターYouTubeチャンネルへアニメーション動画の掲載
  - ・アニメーション動画YouTube広告投下（7/1～9/10）
  - ・琉球新報生活面に漫画・動画紹介記事掲載（7/5）
  - ・短編漫画、アニメーション動画DVDを医療介護施設1600カ所へ配布（11月中旬）
  - ・希望のあった医療介護施設へ短編漫画を追加配布
  - ・日本緩和医療学会 第3回九州支部学術大会へ「活動報告枠」演題登録（11/20）
  - ・アニメーション動画YouTube 8.3万回視聴（令和4年3月末時点）
- 在宅ゆい丸センターリーフレット作成  
地域住民・医療・介護機関事業所等へ当センター事業活動について周知の為、新たにリーフレット作成致しました。
- もしバナカード貸出：人生の最期にどうありたいか。もしもの為の話し合い。きっかけをつくるカード。  
貸出先：沖縄市地域包括支援センター中部北、沖縄市地域包括支援センター西部北

(ク)「在宅医療・介護連携に関する関係市町村との連携」

1. 第1回在宅医療介護連携支援事業連絡会議（12/16）場所：県医師会又はオンライン
2. 中部地区における課題や長期的な計画を整理し、構成市町村がそれを共有する必要がある事から市町村担当者との意見交換を実施しました。
  - 第1回（6/2）、第2回（9/2）、第3回（11/22）、第4回（2/3）
  - 市町村課長会議（10/29）

#### 【その他、外部会議や研修会等への参加】

- ・ 地区医師会コーディネーター等会議/オンライン（毎月）
- ・ 市町村支援事業コーディネーター連絡会/沖縄県医師会（奇数月）
  
- ・ 4/17 エンドオブライフケア協会 6 周年シンポジウム『課題解決先進国として、未来の夢をデザインする』～人口減少時代に、あなたは何かができますか？～（オンライン/14:00）
- ・ 4/26 新型コロナウイルス感染症対策メディア向け勉強会（沖縄県医師会/19：00）
  - ・ 新型コロナ・ショックに備えて最強のチームを作ろう ～Vol. 14 連続企画 ディグニティセラピーと現場の私たち（その3）大切な人の未来に向けたメッセージ オンライン研修会（19：00～21：00）
- ・ 5/22 沖縄県コロナ対策本部主催「新型コロナウイルス感染症の在宅療養者に対する在宅医療・介護の体制確保についての検討会議」（15：30～/オンライン）
  - ・ 沖縄県医師会主催コロナ在宅療養者に対する在宅医療提供に関する連絡会議（20：00/オンライン）
- ・ 7/20 エンドオブライフケア協会研修会(オンライン)
- ・ 8/11 メディカルケアステーション主催「摂食・嚥下とポジショニングセミナー」(オンライン)
- ・ 8/20 中部地区市町村担当者向け新型コロナ在宅療養者の在宅医療調整体制に関する説明会（オンライン）
- ・ 9/4 うちな GRACE 研究会 特別講演（オンライン参加）
- ・ 9/4-9/5 日本在宅医療連合学会第 3 回地域フォーラム（オンライン参加）
- ・ 9/18-9/19 日本エンドオブライフケア学会第 4 回学術集会（オンライン参加）
- ・ 10/15 地域連携のための WEB シンポジウム（オンライン参加）
- ・ 10/16 医師会が進める在宅医療・介護連携推進事業を考える会（オンライン参加）
- ・ 10/16-17 日本ホスピス・在宅ケア研究会 全国大会（オンライン参加）
- ・ 10/22 南部地区医師会主催「在宅医療・介護連携推進事業 多職種研修会」（オンライン参加）
- ・ 11/18-19 リハビリテーション・ケア合同研究大会（オンライン参加）
- ・ 11/20 日本緩和医療学会第 3 回九州支部学術大会（オンライン参加）
- ・ 11/26 老人保健施設 池田苑研修会（西原町 会場参加）
- ・ 11/27-28 第 3 回日本在宅医療連合学会大会（オンライン参加）
- ・ 12/11 全国連携実務者ネットワーク主催「基礎から学べる連携実務者研修会」（オンライン参加）
- ・ 12/19 厚生労働省「令和 3 年度 在宅医療・救急医療連携セミナー」へ、講師として中部地区医師会における在宅医療・介護連携推進事業の取り組みの発表（オンライン）
- ・ 1/14 沖縄県医師会主催 沖縄県在宅医療介護連携意見交換会（オンライン参加）
- ・ 2/16 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会主催 入退院連携デザイン事業多職種研修「コロナ禍でつながる病院・診療所と地域との入退院支援のあり方」(オンライン参加)
- ・ 2/17 厚生労働省主催「在宅医療・介護連携推進事業の 課題と対応策、県の役割を考える」セミナー（オンライン参加）

- ・ 3/5 NPO 法人ケア・ユニゾン主催「食支援は究極の多職種連携～亡くなるまで食べるためには～」研修会（オンライン参加）
- ・ 3/5 令和3年度 厚生労働省 慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業「第2回地域医療介護連携セミナー」（オンライン参加）
- ・ 3/17 全国連携実務者ネットワーク主催「全国連携ナイトスクール在宅医療×病院」（オンライン参加）
- ・ 3/20 日本地域包括ケア学会主催「日本地域包括ケア学会第3回大会」（オンライン参加）
- ・ 3/29 那覇市、南部地区医師会オンライン合同研修会「高齢者施設におけるクラスター発生防止対策研修会」（オンライン参加）

**【各種協議会、委員会への推薦や会議の参加】**

○沖縄市福祉のまちづくり推進懇話会委員の推薦  
仲地理事を推薦。

7/29 10:00/WEB 会議

○沖縄地域包括支援センター運営協議会委員への推薦  
小林 孝暢（マリン在宅クリニック）を推薦

10) 介護保険対策事業（担当理事：末永常任理事）（副担当：兼城真理子理事）

「医療なき介護はありえない」の理念から、介護認定審査会において、主導的役割を果たせるよう会員医師を推薦しました。また、沖縄県介護保険広域連合の事業計画策定委員会へ委員として参加しました。

**【各種協議会・委員会への推薦】**

○沖縄県介護保険広域連合介護保険事業計画策定への委員  
末永正機理事を推薦

○沖縄県広域介護認定審査会委員の推薦  
鳥谷裕先生（ライフケアクリニック長浜）  
新垣武先生（新垣病院）  
屋良朝博（ちばなクリニック）  
名嘉恒守（名嘉病院）  
小橋川悟（いしかわ願寿ぬ森）  
神谷乗史（すながわ内科クリニック）

11) 班活動の強化（担当理事：今井副会長）

各班活動のバックアップ体制の強化に努めているところですが、班活動活性化にむけ班会議が定期的に開催されるよう取り組みました。※各班コロナ感染症拡大防止のため班会議中止

- ①コザ北班（定例開催：毎月第3火曜日開催）
- ②宜野湾班（定例開催：偶数月第4月曜日、奇数月第4日火曜日）
- ③コザ南班（定例開催：毎月第2火曜日）
- ④嘉手納班（定例開催：奇数月第3木曜日）
- ⑤西原班（定例開催：奇数月第1火曜日）
- ⑥うるま班（定例開催：奇数月第3水曜日）
- ⑦班長連絡会（偶数月の第2月曜日）

1 2) 医事紛争・医療安全対策事業（担当理事：兼城真理子理事）（副担当：金城理事）

医事紛争処理体制や医療安全対策の強化に向けて、沖縄県医事紛争処理委員会、沖縄県医療安全対策委員会、沖縄県医師会会員倫理向上委員会に参加し、協議、検討を行いました。

【委員会への参加】

6/2 沖縄県医師会医事紛争処理委員会/20:00/沖縄県医師会

1 3) 医療保険対策事業（担当理事：兼城真理子理事）（副担当：金城理事）

令和2年度から新型コロナウイルス感染症に係るPCR検査や抗原検査等が新たに保険適用になったことから、会員施設で円滑に保険診療が行えるよう各種情報や最新の資料を提供するように努めました。104施設において、保険診療（PCR検査、抗原検査等）が行えます（R4年5月26日現在）

【内訳】

61施設がPCR、抗原検査等が行える診療・検査医療機関

43施設がPCR、抗原検査等が行える検査協力機関

104施設のうち27施設が医師会WEBサイトで公表中

104施設のうち56施設が発熱外来対応医療機関として沖縄県のホームページで公表中

【各種協議会・委員会への推薦】

○沖縄市国民健康保険運営協議会への委員

桑江 朝二郎先生(桑江皮膚科医院)を推薦

潮平俊治先生(しおひら内科・腎クリニック)を推薦

1 4) 精神保健対策事業（担当理事：兼城賢作理事）（副担当：仲地理事）

沖縄県医師会、沖縄県立総合精神保健センター等と連携し自殺予防対策事業の一環として、かかりつけ医等心の健康対応向上研修企画委員会に担当理事を派遣し研修会を企画しました。なお、沖縄県からの委託事業「うつ病に対する医療等の支援体制の強化事業」については、当会ではコロナ感染症の拡大の為、令和3年度の講演会は中止しました。

【各種協議会・委員会等への推薦】

かかりつけ医等心の健康対応向上研修企画委員会委員の推薦

兼城賢作理事を推薦

6/30 第1回かかりつけ医等心の健康対応向上研修企画委員会/19:30/WEB会議

1/26 第2回かかりつけ医等心の健康対応向上研修企画委員会/19:30/WEB会議

### 3、看護師養成を目的とする事業（継続事業2）

（担当理事：大城理事）（副担当理事：西原常任理事）

本事業は、多様化、複雑化した地域保健・医療・福祉ニーズにも応えられるような柔軟に対応できる看護師の養成を行い地域医療福祉の向上に寄与することを目的に実施しました。

2年余りに及ぶ新型コロナウイルスの感染症は看護教育にも大きな影響を与えており、ぐしかわ看護専門学校でも、対面授業が遠隔授業に代り、臨地実習は一部学内実習を余儀なくされました。又、学生生活ではコロナの影響により親の収入が減ったり、学生自身のアルバイトが出来なくなったことで、経済的に困窮する学生が多くみられました。このような厳しい学習環境のなか、ぐしかわ看護専門学校では、ICTを活用した遠隔授業の推進と分散登校による

対面授業の併用、実習においては、臨地実習とシュミレーター等を活用した学内実習を行うことで、学習効果の向上を図ってまいりました。学生の経済面においては中部地区医師会奨学金をはじめ国による経済的支援制度などの活用や中部地区医師会からマスク等の物資の提供などを受けて学生の生活支援を行ってまいりました。学生は激しく変化する学習環境にも必死に学習に励み、ぐしかわ看護専門学校開校以来初となる2年連続で看護師国家試験全員合格を果たしました。また令和4年3月8日には第12期生78名が巣立ち卒業生数は計946名に達しており、着実に本会の使命である地域医療、介護、福祉の充実、強化に寄与しました。このことにつきましては、会員各位並びに会員施設からの絶大なる協力の賜物であり厚くお礼申し上げますと共に、更に講義及び臨地実習を予定通り行うことが出来たことに対しても深く感謝申し上げます。

(1) 高等教育の無償化の指定

令和2年度から施行された「高等教育の修学支援新制度」の指定を受け、令和3年度は在学生56名が授業料等の減免対象となり、国から入学金や授業料として22,090,500円が交付されております。

(2) 病学連携

会員医療機関とぐしかわ看護専門学校で、相互の教育に係る交流・連携を通じて、臨床や教育の課題について共通認識を持って取り組み、教育や看護実践の質の向上を図ることを目的にしております。現在連携協力病院は中頭病院、沖縄県立中部病院の2病院です。

(3) 学校評価

学校評価の実施、学校運営の改善と発展を目指し、教育の水準の向上と保証を図るため文部科学省の「学校評価ガイドライン」に基づき自己評価、学校関係者評価、第三者評価を実施し、評価結果の情報公開を行い、また教育課程についても専門分野の団体などの学部評価を実施しました。

(4) 放送大学連携協力

放送大学との連携協力によるダブルスクール制度には令和3年度2名の学生が入学し、大学卒業資格（学士）取得のため看護学校の授業と並行し放送大学の単位修得のため現在8名の学生が学習に励んでおります。

(5) カリキュラム改正

令和4年度の新カリキュラム改正に向けて、令和2年度に設置したカリキュラム検討委員会において、現行カリキュラムの評価・問題点の抽出、各科目内容の検討及び実習配置の検討、科目担当講師の確保などの検討を行い、令和3年10月に新カリキュラム改正の申請を行い、令和4年3月3日付で沖縄県から承認をいただきました。

このカリキュラム改正内容は、看護管理者・看護教育者のための総合誌『看護展望』2022年5月号へ掲載されました。

(6) 看護師国家試験

コロナ禍で厳しい学習環境の中、12期生全員と教職員が一致団結し、国試対策に取組み、令和3年度の第111回看護師国家試験では、昨年につき2年連続で全員合格を果たしました。

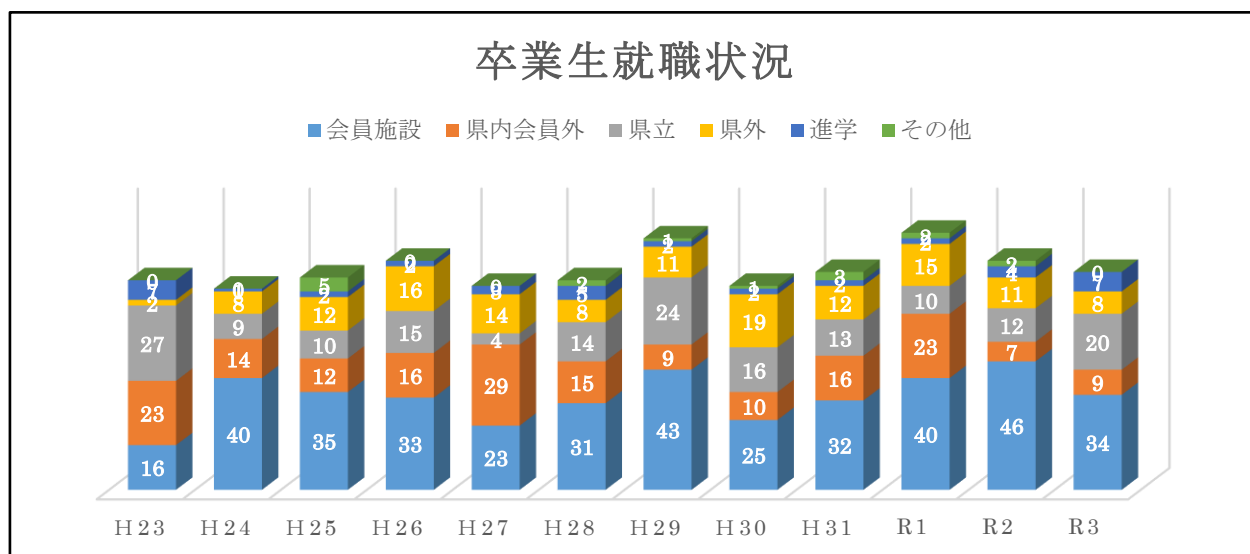
## (7) 受験生の確保

ぐしかわ看護専門学校令和3年度の入試倍率は3倍程度で、短期的には定員の確保に影響は少ないものの、県内看護専門学校の受験者数は、県内景気的好調を背景に社会人受験生の減少、少子化と看護系大学の増加による現役受験生の減少が続いております。中長期的には定員の確保に不安があることから、対策として次のことを行ってまいります。

- ① 社会人受験生のためのセミナー開催
- ② 高校進路指導教員との連携情報交換（セミナー開催等）
- ③ 進学予備校との連携情報交換
- ④ 入学試験科目の検討（数学の廃止、数学を生物基礎との選択制に変更等）
- ⑤ 入試日程の検討（他校と入試日程の被りを回避）

卒業生の就職状況

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R1	R2	R3	合計
会員施設	16	40	35	33	23	31	43	25	32	40	46	34	398
県内会員外	23	14	12	16	29	15	9	10	16	23	7	9	183
県立	27	9	10	15	4	14	24	16	13	10	12	20	174
県外	2	8	12	16	14	8	11	19	12	15	11	8	136
進学	7	1	2	2	3	5	2	2	2	2	4	7	39
その他	0	0	5	0	0	2	1	1	3	2	2	0	16
計	75	72	76	82	73	75	90	73	78	92	82	78	946



## 4. 地域住民の健康増進に関する事業（継続事業3）

（担当理事：野村副会長）（副担当：松嶋副会長）

本事業は、地域住民に対し「高齢者の医療の確保に関する法律」により実施される特定健診、「健康増進法」に基づく各種がん検診を集団で実施。また「学校保健安全法」「母子保健法」に基づく各種健診を乳幼児・児童・生徒の疾病の予防、早期発見を行い地域住民の健康増進に寄与することを目的に実施しました。

## 1) 特定健診・各種がん検診（集団健康診断）の事業

沖縄市・うるま市・嘉手納町・北谷町・北中城村より委託を受け実施している特定健診及び各種がん検診（肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、子宮がん・乳がん検診、前立腺がん検診、胃がんリスク検診）骨粗鬆症検査、肝炎ウイルス検査について、集団健診では令和3年4月～6月にかけて再び新型コロナウイルス感染症に伴う「まん延防止等重点措置」、「緊急事態宣言」が発令され、令和3年6月より予定の集団検診（住民健診：特定健診、がん検診15回、婦人科集団検診3回）の日程が延期となりました。

集団検診（婦人科集団検診含む）において、感染防止対策を徹底し、時間予約制を導入、1会場あたりの予約人数制限にて開始しました。

年間、住民健診（特定健診等がん検診）135回、婦人科集団検診67回実施、うち休日健診を25回、うるま市・嘉手納町・北谷町においてはナイト健診を9回実施しました。

令和3年度は、新型コロナウイルスの感染防止対策を講じながら各市町村、自治会、と連携を図り、受診率向上に努めました。

うるま市集団健診においては、令和元年度より「尿中推定1日塩分量検査」を開始し令和3年度も継続的に実施し、北中城村集団健診においても令和3年度より、40歳以上の住民を対象に「尿中推定1日塩分量検査」を開始いたしました。

また、子宮頸がん検診では、がんの要因となるヒトパピローマウイルス（HPV）に感染しているかどうかを調べるHPV検査をオプション検査として、「細胞診」と「HPV」の併用検診の受診勧奨へ積極的に取り組みました。

集団特定健診各種がん検診予算221,597千円に対して、概算実績は172,654千円、達成率78%

## 2) 学童健診（乳児・1歳半・児童生徒）事業

令和3年度におきましては、北谷町と沖縄県（県立4校：球陽中学高校・北谷高校・嘉手納高校・美里高校）より委託を受け、児童生徒の各種検査（尿・視力・聴力・心電図・XP）と一部市町村の認可・認可外保育施設園児の各種検査（尿・蛭虫・内科健診）を実施しました。また、乳児健診（小児保健協会より）及び1歳半健診（北谷町・嘉手納町より）を実施しました。

うるま市において、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症のため、乳幼児健康診査（前期）受診率が著しく低下していることからうるま市、沖縄市内の小児科専門医所属の医療機関のご協力を頂き、医療機関内にて実施する乳幼児個別健康診査（前期）の集合契約取りまとめを行いました。（令和3年4月～令和4年3月まで916名受診）

## 5. 在宅医療推進に関する事業（その他事業1）

（担当理事：末永常任理事）（副担当：兼城真理子理事）

本事業は、中部地域の病院や療養施設から自宅へ戻る在宅医療・看護・介護・福祉が必要な利用者（高齢者・障がい者・障がい児及び人生の最終段階を自宅で迎えるターミナル患者等）に対し訪問看護・訪問リハビリ・介護サービスを提供し在宅で療養生活が安心して過ごせるよう実施しました。

### ① 訪問看護ステーション事業運営

沖縄市八重島事務所を拠点に、中部地区全域を対象に引き続き、看護師・理学、作業療法士・言語聴覚士による多職種協働でサービスを提供し機能強化訪問看護ステーション加算Ⅱ（常勤看護師6名・ターミナルケア算定年間15回以上）を継続取得しました。利用者には更なる質の高いサービス向上（24時間体制の強化・ターミナルケア・超重症児・児の重症度の高い患者7名受入等）に務めました。

令和3年度はコロナ感染症対策を行い訪問サービスを継続し職員には定期PCR検査実施。安全に訪問サービスが提供できるよう各種委員会を中心に職員一丸となり対策へ取り組みました。

質の高い訪問サービス継続するため定期的な課内研修や外部研修を計画的に行いました。中・長期的なキャリアアップ制度確立を進めています。また、病院・診療所・地域介護保険施設との連携やコロナ自宅療養者訪問等、地域・医療・福祉の連携を強化しました。更に、医療ニーズの高い方終末期ケア等、地域医療機関との連携、退院支援、在宅医療、地域の実情や課題解決、切れ目ない支援へ取り組みます。

### ② ヘルパーステーション事業運営

例年通り、障がい者総合支援法（精神・障害者・児）・介護保険に基づく利用者の確保や訪問件数の増加を図るために教育や定期的な研修を行って参りましたが、近年のコロナ禍の影響、適切な人員配置が行えず訪問件数が減少となっております。

職員の定着及び労働環境改善、スキルアップ研修等充実した職場環境づくり、コロナ禍でも訪問を継続できる体制作りが課題であります。

### ③ 宅介護支援事業所事業運営

特定事業所加算Ⅱ（主任介護支援専門員2名・介護支援専門員2名）を継続し訪問看護・訪問リハビリ・ヘルパーと連携。職員体制を整え沖縄県介護保険広域連合、地域包括支援センター・医療機関との連携を強化推進。職員個々の能力向上のため、Web研修へ参加すると共に、定期的な勉強会の開催に努めました。

3事業所の健全経営基盤を構築するため他の介護施設との連携を深めると共に、会員が利用しやすい24時間体制やターミナルケアに特化した訪問看護・介護への充実に努めました。

#### 【利用者の開拓】

中部地区会員施設や国立療養所沖縄病院、琉球大学病院、県立中部病院、県立南部こども医療センター等と更なる連携強化を図り利用者の拡大を図りました。

#### 【24時間体制の強化】

利用者及び主治医が安心して在宅療養が出来るように「24時間体制の強化」「主治医や利用者へのきめ細かい情報提供」を行い、地域医療の推進・安心と信頼を得られる事業所運営を図りました。

#### 【実習施設として受け入れ態勢の強化】

昨年に引き続き、ぐしかわ看護専門学校等の実習施設として実習生の受け入れを行いました。



## 6. 会員福祉向上に関する事業（その他事業2）

会員福祉事業（担当理事：金城理事）（副担当：石川理事）

本事業は、会員及び会員施設の福祉の向上経営安定化を目的に実施されるもので、会員及びその親族（一親等）が死亡した場合における告別式新聞広告、供花の低価格での案内も行うと共に、下記の事業を行いました。

### ① 中部地区医師会表彰の開催

平成29年度より中部地区医師会表彰規程を作り、令和3年度も引き続き長年に亘り学校医や健診協力医、ぐしかわ看護専門学校講師、各種委員会委員、本会役員等としてご尽力頂いた会員並びに会員施設に勤務する医師以外の職員で勤続10年に達した医療従事者に対し「中部地区医師会表彰」として表彰を行いました。コロナ感染症流行の為、式典、祝賀会の開催は出来ませんでした。表彰者には例年通り、賞状、記念品を贈呈しております。

#### 1) 令和3年度、医療従事者表彰

受賞者：210名(44施設)

#### 2) 中部地区医師会会員表彰式※新型コロナウイルス感染症の影響に伴い祝賀会は中止。

日時：令和4年3月25日(金) /臨時総会終了後開催

場所：中部地区医師会館

受賞者：2名

功労賞：新垣病院 新垣 武 先生（学校医歴10年以上）

ゆいクリニック 島袋 忠雄 先生（学校医歴10年以上）

### ② 中部地区医師会会員（配偶者含む）、浦添市医師会会員、中部地区歯科医師会会員向けに、人間ドックを日曜日【7/11（9名）、11/7（18名）合計2回】及び平日早朝（7:30開始）で行い、会員が受診しやすいよう努めました。

### ③ 中部地区医師会会員カードの発行

福利厚生事業の一環としてレジャー施設等の割引・特典などを企画し平成29年1月より、会員及び会員施設職員・医師会職員とその家族を含め、ぐしかわ看護専門学校学生を対象に医師会会員カードを発行しております。

## 7. 受託健診に関する事業（その他事業3）

（担当理事：野村副会長）（副担当：松嶋副会長）

本事業は、会員施設からの臨床検査受託事業や管内市町村や健康保険組合等から委託を受け人間ドック、特定健診（特定保健指導及び入力代行含む）、各種検診の施設内健診事業、また、労働安全衛生法に基づき検診車を活用しての健康診断や特殊検診に関する企業健診事業及びストレスチェック等を行い地域住民の疾病の早期発見、健康の保持と増進を目的に事業を行いました。

### 1) 臨床検査受託事業【臨床検査課・営業課】

令和3年度も令和2年度より立ち上げたPCR検査実施に伴い、年度予算を達成しました。医療機関には保険点数の70%請求（12,600円税抜）で実施してはいましたが、12月31日より保険点数減点に伴い試薬料、材料費を考慮し75%請求（10,125円税抜）とさせて頂き、さらにR4,4月よりさらなる減点に伴い現在75%請求（6,375円税抜）で行っています。

これまでに5万9623件（R4.3.31迄）のPCR検査受託することが出来ました。また、以下の事項を行い、達成に向け努めて参りました。

#### ① 中部システムサポート（株）と連携を図り、日本医師会レセプト（オルカ）や各種メー

カーの電子カルテ対応システム、またSRLとの業務連携により新規開業の施設獲得に努め営業力強化を図りました。

- ② 臨床検査技師の技術向上を目的にリモートによる各種学会や講習会へ積極的に参加しました。また、人材不足への対策としてどの検査部門でも対応できるよう検査室内でのローテーションを行いました。

【参加学会講習会等】

日本臨床細胞学会/日本マスキング学会/県技師会学会

- ③ 先天性新生児代謝異常検査事業  
沖縄県地域保健課から受託した事業、タンデムマス法による「新生児先天性代謝異常等検査・(新生児マス・スクリーニング・20種)」は年間約14,700名の検査を行いました。

## 2) 人間ドック、各種健康診断【健康増進課】

令和3年度の施設内健診では、体温計測、手指消毒、不織布マスク着用等、受診者への協力を行うと共に、職員においても、施設内の定期的な換気、消毒（ソファール、手すり）、出社前の体調管理等を徹底的に行ったことから、職員間の感染や受診者からの感染等のクラスターと思われる事例もなく、年間を通して計画通りに1日当たり、午前90名（ドック55名、健康診断35名）/午後28名（ドック8名、健康診断20名）の受入れ体制を維持し、以下の通りとなりました。

- ① 施設内健診予算495,017千円に対して、概算の実績は506,903千円、達成率102%
- ② 人間ドック(13,700名)、健康診断等(12,000)名、合計約25,700名の受診者を受入れました。
- ③ 琉球大学病院産婦人科のご協力により、引き続き、月曜日の午前、火曜日の午後、婦人科検診を実施する事が出来ました。
- ④ 令和2年12月、労働安全衛生法改正に伴い、法定健診項目に血糖検査に加えHbA1c検査が追加実施となりましたので、令和3年度より健康診断の料金改定を行いました。
- ⑤ 各市町村から特定健診及びがん検診（結核・肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、子宮がん検診、乳がん検診）の同日実施の受診勧奨を行い受診者増に繋げました。
- ⑥ 労災二次健康診断の受診者増を図るため、人間ドック受診者、健康診断受診者、企業健診受診者の該当者へ受診勧奨文を結果発送の際に同封し積極的に受診勧奨を図りましたが、労災二次健康診断年度予算達成率が69%となりました。労災2次健診の受診の重要性を事業主や健診担当者にご理解いただき、更に受診勧奨の強化に努めます。

### ⑦ オプション検査の充実について

オプション検査等の令和3年度予算達成率82%となりました。当センターのドック受診者の7割は協会けんぽ（労働安全衛生法）となります。基本項目は会社負担での実施がほとんどですが、各会社、オプション検査等は自己負担での受診となります。受診者本人が個人負担金を出してでも受診したいと思わせるオプション検査項目の充実を目指します。

## 3) 特定健診等代行入力事業【電算課】

会員(72施設)・他地区会員(12施設)より、請求事務処理代行(検査含む)の委託を受けて実施しました。

## 4) 企業健診事業【健康企画課 営業係】

法定健診や健康相談(ストレスチェック等)の充実・拡大を図ると共に、企業へ健診後の支援として、労災二次健康診断の案内や地域産業保健センターとのタイアップによる保健指導、健康相談、健康教育など、トータル的な健康教育機能を充実させ収入の増加を図りました。

- ① 新規開拓16件
- ② 地域産業保健センターとの連携

健康管理相談（労災二次健康診断含む） 336 回  
医師の意見書 42 社

訪問産業保健指導 10 回  
長時間労働者面接指導 3 回

5) 各種がん検診個別事業【健康企画課 検診係】

管内 9 市町村と他 7 市町村（恩納村、金武町、宜野座村、東村、名護市、本部町、伊江村）より委託を受け、乳がん検診（マンモ検査、乳エコー）、子宮がん検診を実施医療機関 31 施設（会員 22 施設、会員外 9 施設）の協力のもと行いました。

また浦添市の子宮がん検診については、浦添市医師会より委託を受け行いました。乳がん検診（マンモ検査）は、本会所有のマンモ検診車を会員施設に配置（12 施設）して頂き受診者増に取り組みました。子宮がん検診は、平成 25 年度から県年内で初めて液状化検体細胞診（LBC 法）を導入し精度の高い検診を実施しており受診者増に努めております。また、肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診は平成 23 年度より金武町が「個別がん検診」を実施しておりますが、平成 28 年度から沖縄市、平成 29 年度から北谷町、平成 30 年度から中城村、伊江村、令和元年度から、うるま市、北中城村、令和 2 年度から東村、令和 3 年度より恩納村でも「個別がん検診」を実施し、実施医療機関 27 施設（会員 21 施設、会員外 6 施設）の協力のもと継続的に受診率向上対策に取り組みました。

6) 特定保健指導事業【健康推進課 保健指導係】

例年と異なり特定保健指導実施人数が 200 名増となり、その対象者を二次健診受診に結び付けることができ、保健指導の質の向上へと結びつけることができました。

年度末には毎年保険者への特定保健指導の実績評価、独自の保健指導調査内容について報告しています。今回は保健指導リピーターの対象者を中心に調査し、保健指導対象外へと移行した者のデータを収集・アウトカム評価分析を実施しました。

アウトカム評価がしっかり得られた結果となり、第 4 期に向けて更に成果を出せる保健指導を目指し取り組んで参ります。

【実績】

特定保健指導実施人数 合計：2,330 名（前年度 2,156 名）

積極的支援：1,189 名（前年度 1,072 名）

動機付け支援：1,141 名（前年度 1,084 名）

【その他】

沖縄県立看護大学保健看護専門職養成実習：11/9～11/19

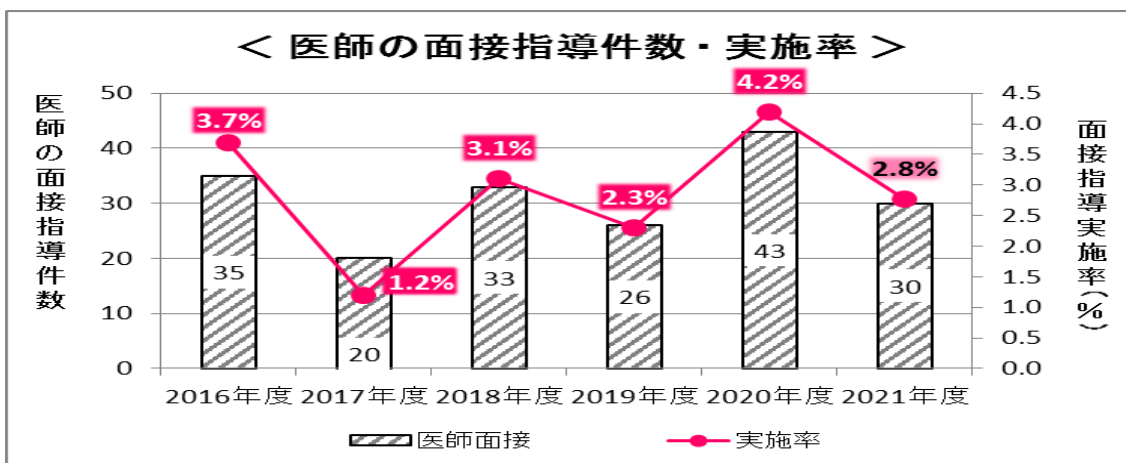
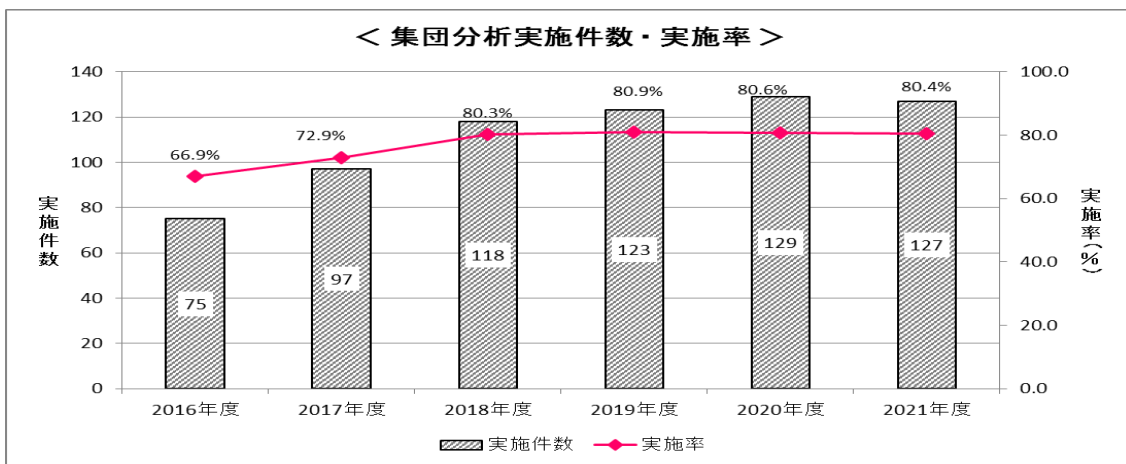
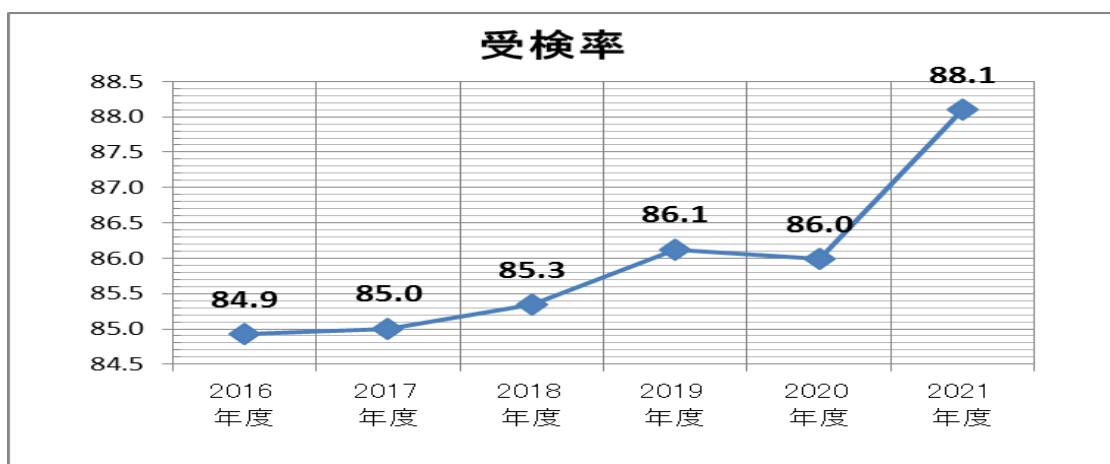
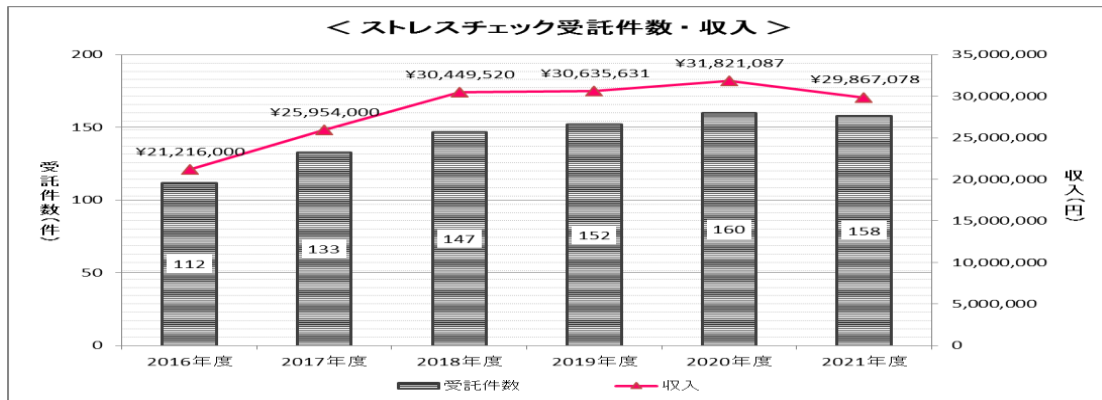
中部地区地域産業保健センター健康相談実施人数 608 名（前年度 549 名）

7) ストレスチェック事業【健康推進課 ストレスチェック係】

ストレスチェック事業 6 年を終えて、前年度と比較すると、受託件数、収入ともに減少しました。大手企業（6 社）が自社での実施へと変更及び入札制度に変更となったことが大きな要因と考えられ、新規事業所の獲得と、継続した受託が今後の課題となっています。SDGs の取り組みとして、ペーパーレスへの移行のため、Web 受検を推奨し、Web 受検での実施率は年々増加しています。受検率は例年と比較して 88.1% と高い結果でした。今後も「メンタルヘルス不調者の未然防止」のため、更なる未受検率の低減を目指します。集団分析（組織診断）の実施件数、実施率は前年度とほぼ同数、同率でした。集団分析の報告会を実施していることや、高ストレス者の医師の面談を受託しているのは、県内で中部地区医師会だけで

あり、一連のサービスに契約事業所側より好評価をいただいています。新規事業所の獲得に向け、更に成果の出せるストレスチェックサービスを目指して取り組んで参ります。

【実績】



## 8. 地域保健推進事業について（その他事業4）

本事業は小児や児童生徒、高齢者の感染症予防のため、本会が実施主体となり会員施設での個別予防接種並びに婦人科個別検診、更に学校医配置業務について行うもので、実施にあたって各種情報提供、相談業務を行いました。

### 1) 予防接種事業（担当理事：石川理事）（副担当：野村副会長）

- ① 個別予防接種受諾施設の取り纏めを行い、市町村との委託契約を行いました。
- ② 個別予防接種県内相互乗入れについて、各地区医師会と調整を行いました。
- ③ 医療機関での個別予防接種が円滑に行えるよう実施マニュアルを作成しました。

### 2) 婦人科個別検診代行入力事業（担当理事：野村副会長）（副担当：松嶋副会長）

市町村と中部地区医師会とで委託契約を交わし、会員施設での検診が円滑にすすむよう実施要項を作成し各種情報提供等を行いました。

### 3) 学校医による学校定期健康診断医師配置及び事務代行業業

（担当理事：石川理事）（副担当：古堅理事）

学校医の負担軽減を図るため管内の教育委員会及び沖縄県教育庁、一部私立学校と学校健診について委託契約を行うと共に、健診協力医の配置を行いました。また、会員施設から帯同看護師の派遣依頼があり検診センターから看護師を派遣しました。

#### ① 学校定期健康診断の委託契約

管内小学校・中学校・高等学校・養護学校など119校へ校医（111名）・健診協力医（56名）を配置し学校定期健康診断を各市町村教育委員会及び県教育庁等と委託契約を行いました。

#### ② 学校健診帯同看護師の配置

赤道小学校	7/12、7/13、7/14
浜川小学校	5/13、5/27、6/3
比屋根小学校	5/24
真志喜中学校	5/6、5/12、5/13、5/26
普天間中学校	7/12、7/13、7/14、7/15
中部農林高校	5/6、5/18
北中城小学校	5/31
球陽高校	5/24
宮里小学校	11/5、11/8、11/15